利用会員 114 人
賛助会員 95 人
(内法人団体 7 団体)
活動会員 18 人

まごの手通信

第32号

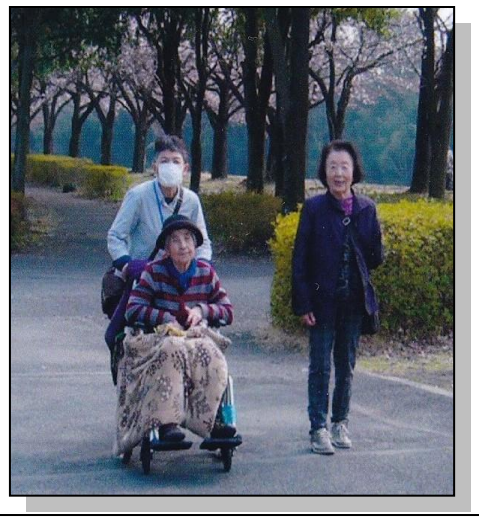
事務所開設時間
〇月～金曜日〇
9:00～17:00

発行：認定特定非営利活動法人　まごの手　理事長：小暮悦子　　発行日：令和元年 6 月吉日　編集：まごの手通信編集委員会
所在地：〒327-0314　佐野市新吉水町 375　電話：0283-85-8720　FAX：0283-85-8721
ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ　http://npomagonote.dousetsu.com/index.html

まごの手事務所とふれあいハウス「たんとんとん」の大家さんである稲塚由美子さんに原稿を寄せていただきました。

寄る年波には誰も勝てない！そんな時の「まごの手」さん

16 年間車椅子生活を続け、90 歳で亡くなった母の口癖は、「人間はただ食べさせて寝せておけばいいってものじゃない」でした。介護保険制度でヘルパーさんを頼んでいるけど、買い物にも行きたい、音楽会にも行きたい、自分で選んで自分で決めたいのです。しかし、母のやりたいことは血縁だけで添おうとすれば、やがて「これやって当然でしょ」が無意識のうちに始まり、疲弊します。そんな時に、程良い距離感で、「かゆいところ」＝添ってほしいところに手が届くのが、介護保険外の在宅福祉サービス・ＮＰＯ法人「まごの手」さんでした。スタッフのメンバーさんが母を見守り、車いす送迎車も持ち、時給精算で母の行きたいところに連れて行きます。お墓参りや病院、講演会もコンサートも一緒に聴きに行って帰ってきます。介護保険では出来ない事をやってくれます。紋切り型の支援ではなく、「人間の豊かさ」を保証した寄り添いです。母は「まごの手」のメンバーさんが大好きでした。娘の私もいずれ老います。そうなったら、まごの手さん、「共生」させてくださいね、と今からお願いしています。



外出を楽しむお母さん
（故篠崎シヅさん）

稲塚由美子さんのプロフィール
ドキュメンタリー映像制作、ミステリー評論家。東京外大スペイン語学科卒。商社勤務を経て、海外ミステリーの翻訳者から評論家に転身。ドキュメンタリー映画「隣る人」を企画。社会福祉法人「光の子どもの家」理事。世界 30 カ国以上を訪れており、それぞれの違いを認めつつ、世界の人々をつなぐことを目指している。

令　和　元　年　総　会　開　か　れ　る

6 月 2 日佐野市役所市民活動スペースにて、正会員の出席のもと特定非営利活動法人まごの手の令和元年度通常総会が開かれました。佐野市長代理として行政経営部部長様、市民活動促進課、いきいき高齢課の代表の方々、社会福祉法人佐野市社会福祉協議会、佐野フォーラムの代表の方々。賛助会員様、ふれあいハウスたんとんとんのボランティアの方々のご参加を頂きました。はじめに小暮理事長のあいさつの後、ご来賓の方々から「前年度の活動への感謝と引続き市民のための活動をお願いしたい。10 月には全国女性フォーラムが佐野市で開かれるのでご参加を。」とご挨拶を頂きました。5 項目の議案はすべて承認されました。
今回は尾花陽子先生のオカリナ演奏と歌も楽しみました。

議事
第 1 号議案　平成 30 年度事業報告
第 2 号議案　平成 30 年度活動計算報告及び監査報告
第 3 号議案　令和元年度事業計画（案）
第 4 号議案　令和元年度活動予算（案）
第 5 号議案　役員任期終了につき退任及び就任について

理事長挨拶より
かゆい所に手が届く寄り添った支援をしている「まごの手」の活動⇒通院、付き添い、介助、買物支援などのほか、施設入所の方の話し相手、認知症の方とのドライブ、掃除や衣類の片付けなど。
しかし支援する活動会員が足りません。有償ボランティア（時給 826 円）の出来る方をご紹介下さい。30 年度は賛助会員 133 人、法人 9 団体、寄附 248,612 円、利用会員 164 人、活動会員 18 人、こんなに多く方がまごの手を支えて下さっています。にもかかわらず 30 年度決算は苦しい結果に終わっています。法人会員や賛助会員のご紹介もよろしくお願い致します。

尾花先生　オカリナ演奏